

東京辰巳国際水泳場利用時の感染防止策チェックリスト（団体責任者向け）

全般的な事項

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせるよう促し、場合によっては参加を中断することがある旨を確実に周知すること。
 - 利用当日の体温
 - 利用前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱（おおむね37.5度以上）
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 体調が優れなくなった方がいる場合には、すぐに施設管理者に申し出てください
- マスクを持参させてください（受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用させること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施を促すこと（水が付きやすいプール環境では効果が落ちる可能性があるため、水をふき取る等して乾燥面への使用を心がけてください）
- 他の利用者や施設管理者との距離（できるだけ2m以上）を確保してください（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 利用中に大きな声で会話、応援等をしないでください
- 感染防止のために施設管理者が決めたその他の措置の遵守、施設管理者の指示に従ってください
- 利用終了後2週間以内に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合には、必ず施設管理者に対し速やかに濃厚接触者の有無等について報告してください
- 「東京版新型コロナ見守りサービス」など、接触確認アプリへの登録にご協力ください

利用当日の対応

- 参加者に対し、「東京辰巳国際水泳場利用時の感染防止策チェックリスト（利用者向け）」に記載されている各事項の遵守を求めるとともに、参加者全員に「体調管理チェックシート」を記入させ、団体責任者が代表してプール前受付に提出してください
その際、発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けてください（非接触型機器などを活用して利用者を検温し、発熱者に対しては入館を制限する）
- 参加者の入場券は「体調管理チェックシート」の提出と引き換えになります
- 遅れてくる参加者がいる場合は予め参加者の氏名を受付に申告し、参加者は「体調管理チェックシート」をプール前受付に直接提出させるよう案内をしてください
- 参加者が運動時以外、特に会話をするときにマスクを準備しているか確認すること
- マスク（特に外気を取り込みにくいN95などのマスク）を着用してスポーツを行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることや、体温を下げにくくなって熱中症になりやすくなること、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩をとる等、無理をしないことについて注意喚起してください
- 施設利用前後のミーティング時において、三つの密（密閉・密集・密接）を避けること
- レーン内において前方の泳者と10m以上又は10秒以上の間隔を空けること
- レーンの両端（スタート位置・ゴール位置）には滞留せず、速やかに退水すること
- 館内掲示の「東京版新型コロナ見守りサービス」への登録を参加者に促してください（利用都度）

【参考】

東京都「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン」